Ⅵ．退職給付引当金

１．退職給付債務に関する事項

区　　分	平成25年３月31日現在
退職給付債務　　(A)	△　85,498,157円
未認識数理計算上の差異(B)	0円
退職給付引当金　　(C)＝(A)＋(B)	△　85,498,157円

２．退職給付費用に関する事項

区　　分	平成25年３月31日現在
勤務費用	45,844,545円
利息費用	680,990円
過去勤務債務の費用処理額	△　13,029,436円
数理計算上の差異の費用処理額	3,713,480円
運営費交付金で財源措置された費用	606,355,810円
退職給付費用	643,565,389円

３．退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区　　分	平成25年３月31日現在
割引率	1.2%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
過去勤務債務の償却年数	発生事業年度一括費用処理
数理計算上の差異の処理年数	発生事業年度一括費用処理

Ⅶ．固定資産の減損関係

減損の兆候を認識した固定資産

１．使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用　　途　がん予防・検診センター
種　　類　建物
場　　所　東京都中央区築地５－１－１
期末帳簿価額　444,602,459円

２．使用しなくなる日

未定

３．使用しないという決定を行った経緯及び理由

該当する建物は建築から45年を経過しており老朽化が著しく、建て替えを行うために使用しないという決定を行いました。

４．将来の使用しなくなる日における帳簿価額、回収可能サービス価額及び減損の見込額

将来の使用しなくなる日が未定のため、不明です。

Ⅷ．資産除去債務関係

１．資産除去債務の概要

当センターは、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用並びに、所有する医療用器械備品の処分時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用につき資産除去債務を計上しております。

２．資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積りにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に１年10ヶ月～39年と見積っております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う国債の利回りを採用しており、0.116%～2.283%となっております。

３．当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	583,871,448円
見積りの変更による増加額	1,505,755,354円
時の経過による調整額	16,660,542円
資産の除去による履行額	0円
期末残高	2,106,287,344円

４．資産除去債務の見積りの変更の概要及び影響額

当事業年度より、「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」の改正により放射化物の処理方法について法律上明確化されたことから、見積りの変更による増加額1,505,755,354円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

Ⅸ．重要な債務負担行為

翌事業年度以降に支払いを予定している重要な債務負担行為は、以下の通りです。

（単位：円）

	契　約　内　容	契約金額	翌年度以降の支払金額
1	治療棟その他工事	3,805,725,000	2,715,519,794
2	医事・病歴、検診事務等業務委託	1,272,549,800	1,272,549,800
3	特殊建物・設備総合維持管理業務（築地地区）	1,238,580,000	1,238,580,000
4	サイバーナイフ	837,900,000	805,350,000
5	特殊建物・設備総合維持管理業務（築地地区）	776,160,000	776,160,000
6	中材・消毒・メッセンジャー等業務委託	576,576,000	576,576,000
7	患者の食事提供業務委託	543,942,000	543,942,000
8	センター・セキュリティシステム導入・運用	554,965,605	394,379,973
9	陽子線治療システム保守業務委託	703,500,000	351,750,000
10	放射線治療システム	289,800,000	289,800,000
11	病院棟病室整備工事	173,250,000	173,250,000
12	外来・病棟補助業務委託	163,485,000	163,485,000
13	研究棟建替整備等工事に係る基本設計・実施設計・工事監理業務	147,000,000	147,000,000
14	陽子線治療システム運転維持管理業務委託	268,244,550	144,698,400
15	がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務	139,860,000	139,860,000
16	センター電子カルテシステム更新に係るコンサルティング業務	113,242,500	113,242,500

Ⅹ．重要な後発事象

該当事項はありません。